

日々の使いやすさを考えて、3つのHigh機能を搭載した「システムキッチン ハイル」発売

リビングキッチンが家族の広場になる。
EIDAI LIVING KITCHEN



システムキッチン「ハイル」

発売開始日：2015年7月30日

参考価格：I型間口2550mm
開きプラン¥597,840(税込)～

永大産業は7月30日から、日々の使いやすさを考えた3つのHigh機能で、心地よさを感じるシステムキッチン「ハイル」を発売いたしました。従来の普及価格帯のシステムキッチンは、デザイン面において各社細かな違いはあるものの、ユーザーにとっての使いやすさでは、大きな違いが感じられないものでした。

当社では、日々の使いやすさから生まれる心地よさを感じるシステムキッチンを目指して「ハイル」を開発しました。

3つのHigh機能は①リビング空間と調するハドルスのシンプルデザイン、②クラス最大級の引き出し底面積による収納力、③Eキャビ(害虫の侵入を防止し、抗菌加工を施した清潔キャビネット)です。

情報提供: 永大産業

ハウステックがキッチン「ラヴィー」刷新、リフォーム対応力を強化



ハウステックは8月24日、システムキッチン「ラヴィー」シリーズをモデルチェンジして発売する。リフォーム向けのアイテムを充実。

「どこでも排水カバー」や「配管スペース付きシンクキャビネット」を使うことで、収納量を減らさずに既存の設備配管を生かしてリフォームができるようになった。集合住宅の天井梁回りに対応する「吊戸棚」や「換気フード」も用意した。

新モデルでは、水栓設置スペースを小さく、洗剤ポケット下の空間を大きくした奥広設計の「手間らくシンク」を標準搭載。大きめの食器が洗いやすいだけでなく、洗い物を置きながら手前に水仕事用のスペースを確保することができる。また、限られたスペースでも収納量を確保したいという要望に応えるため、キッチンファニチャーのハリエーションを拡充。

従来からある奥行45センチに加え、セクショナルキッチンからのリフォームに適する38.5センチ、大型調理家電の設置に適する51センチの2タイプを追加した。

情報提供: 新建ハウジング

家電量販のエディオン、不動産売買仲介事業に参入 リフォームもワンストップ提案



理想の住まいと快適な暮らし

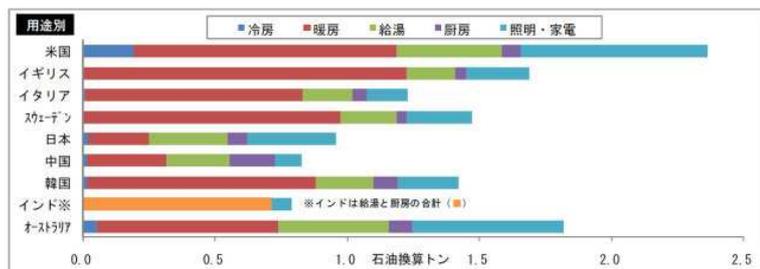
エディオンハウジング

家電量販のエディオン(大阪市北区)は8月19日、不動産売買仲介事業「エディオンハウジング」を開始すると発表した。専属物件に関しては専門会社による検査を実施し、独自の保証制度や仲介手数料の10%分の「エディオンポイント」を付与して還元するなど独自のサービスで差別化を図る。

新事業は「家電店にある身近で気軽に相談できる不動産店」がコンセプト。エディオン店舗内に営業所を開設する。リフォーム事業と連携することにより、リフォームや家電、資金相談をワンストップで提案する。第1号店は、9月1日にエディオン伊丹店内にオープンする。今後、大型店舗を中心に展開を進めることを計画しているという。

情報提供: 新建ハウジング

実は遅れている日本の家！



用途別の戸当たりエネルギー消費量
世界の住宅エネルギー需要動向調査/富士経済

日本の住宅(建築物)に対する省エネ化は世界的に見てかなり遅れている。欧州はもちろん、アメリカ、カナダ、中国、ロシア、韓国、メキシコより国としての取り組みが遅れている。日本は先進国の中で省エネ基準の遵守が義務化されていない数少ない国のひとつ。表を見ると「あれっ、日本は結構、省エネじゃない？」と思うかもしれない。お隣の韓国と比べると「暖房」による消費が日本の約3倍ある。他はほぼ同じ。

韓国は寒いからと思われるが日本だって寒い地域は多い。比較的温暖な地中海性気候のイタリアを見て欲しい。イタリアも日本の様に南北に長い国土である。北部に位置するミラノの最低気温は東京より若干低い位なのだが、「暖房」による消費エネルギーは日本の約3倍である。ヨーロッパでは室温は人権のひとつとして重要視されている。室温20度以下は人間の住む環境としてふさわしくないと考えている。そうすると日本人は我慢によって節約しているということになる。

ちなみに中国の戸当たり消費量が低いのは、まだまだ低所得層が多く、設備も普及していない為であるようです。

情報提供: Big Lobe